

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～終了年度未定		担当課室	文化財部伝統文化課		伝統文化課長 平林 正吉		
会計区分	一般会計		政策・施策名	文化による心豊かな社会の実現 XII-2 文化財の保存及び活用の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第10条、第12条、第13条、第14条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の「たから」である地域の多様で豊かな文化遺産を活用した、伝統行事・伝統芸能の公開、後継者養成、古典に親しむ活動や、子ども達が親とともに地域の伝統文化に触れる体験事業など、特色ある総合的な取組を支援することで、文化振興とともに地域活性化を推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地方公共団体が策定する事業実施計画に基づき実施される地域の文化遺産に関する情報発信、人材育成、普及啓発、継承、記録作成、調査研究や、子ども達が親とともに地域に伝わる伝統芸能・伝統行事等の伝統文化に触れることのできる機会を提供する取組等に対して補助を行う(補助率・定額)。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				3,384	3160	
		繰越し等				-		
		計				3,384	3160	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	補助事業実施都道府県数			-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助事業実施件数			-	-	-	-	
単位当たりコスト	6.1(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト 3,355百万円/550件				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	文化芸術振興費補助金	3,355 百万円	3,120 百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」600百万円				
	諸謝金	4 百万円	3 百万円					
	職員旅費	3 百万円	3 百万円					
	委員等旅費	2 百万円	1 百万円					
	庁費	21 百万円	4 百万円					
	文化芸術振興委託費	0 百万円	28 百万円					
	計	3,384 百万円	3,160 百万円					
※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない								

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)の重点戦略に挙げられており、国として実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・補助対象事業については、都道府県・市区町村が地域の多様で豊かな文化遺産を活用した計画を策定し、この計画に基づいて実施する取組について、外部有識者により構成する委員会において審査を行い、決定している。 ・補助対象経費については、事業要項で厳格に定めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・実績報告書の精査を行うとともに、実施された取組や成果物の活用状況の現地確認、会計処理などの実地検査等を行い、より適正に補助金が執行されるよう努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	<p>・本事業は、文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)の重点戦略(4)「文化財の特性や適切な保存に配慮しつつ、多様な手法を用いて積極的な公開・活用を行い、広く国民が文化財に親しむ機会を充実する」及び重点戦略(5)「文化財建造物、史跡、博物館や伝統芸能等の各地に所在する有形・無形の文化芸術資源を、その価値の適切な継承にも配慮しつつ、地域振興等に活用するための取組を進める」に沿った事業を実施するものであり、国として実施する必要がある。</p> <p>・申請内容、積算等について、事業要項に照らして精査し、効果的・効率的な執行に努めている。</p>			
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
<p>本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標もたてられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-				
備考				
<p>○文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html</p>				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年	-	平成23年	-	平成24年 追加25-0003

※執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文化庁
3,384百万円

諸謝金 4百万円
職員旅費 3百万円
委員等旅費 2百万円
庁費 21百万円

事業

伝統芸能・伝統行事の活性化及び後継者育成など地域活性化等を推進するための取組を実施する民間団体に対して補助



【補助】

A.民間団体
550機関
3,355百万円

伝統芸能・伝統行事の活性化及び後継者育成など地域活性化等を推進するための取組を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.民間団体			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	@6.1百万円×550件	3,355			
計		3,355	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0